



関中央ロータリークラブ

2016-2017 WEEKLY REPORT



例会日 毎週木曜日 18時30分

例会場 関観光ホテル（関市池尻91-2）

事務局 関市西本郷通5-2-53 TEL0575-24-7332・FAX0575-23-5278

会長：石原 妙生 **副会長**：川村 紳一 **幹事**：波多野 篤志 **クラブ会報委員長**：吉田 和也

2016～2017年
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

ロータリーで何か発見を！

2016～2017年度 関中央RC会長テーマ

四つのテスト
・真実かどうか
・みんなに公平か
・好意と友好を深めるか
・みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第1878回例会 2016年11月6日（日）

森林整備例会（里山）／ 担当 環境保全・IAC委員会

前例会の記録

第1877回 2016年10月29日（木）

コンテスト発表会／担当 40周年記念実行委員会

*開会の言葉 40周年記念実行委員会

川上 勉 委員長

関中央ロータリークラブは創立以来40年青少年育成および環境保全活動に重点を置き活動をしてきました。



昨年3月に小瀬の鵜飼漁の技術が、国の重要無形民俗文化財に指定されました。また12月には清流長良川の鮎が世界農業遺産に認定されました。それを受けまして、関中央ロータリークラブ40周年記念事業のコンセプトとして森、川、海、絆と位置づけて今までも今後とも展開していきたいと思っております。長良川を題材にしました絵本「森に帰ったクジラ」を、将来を担う関市内の全ての児童に本を配布させていただきました。今回、関市教育委員会様、岐阜新聞・ぎふチャン様、長良川環境レンジャー協会様の協賛をいただきまして、森に帰ったクジラを読んで思ったこと自然を守ることについての作文・絵画を募集したところたくさんのご応募をいただき感謝しております。これも偏に各学校

の先生方、園の先生のご協力によるものと感謝しております。

*会長あいさつ 石原妙生会長



本日は、関中央ロータリークラブ創立40周年記念事業として計画をしました「森に帰ったクジラ」作文・絵画コンテスト発表会に沢山の方にご出席を頂き誠に有難う御座います。又、関市長さんを始め来賓の方々には御多用の中、御臨席頂き改めて御礼申し上げます。

今回の募集に対し約1,300点という多くの作品を出して頂き、誠に有難う御座いました。関係者一同驚きでした。この本を見て、読んで頂き「森・川・海」のつながりを通じて、自然や環境を守ることの大切さと、優しい気持ちを感じてもらったと思います。

そういう気持ちを持つことで、自然に対してだけでなく人間関係でも他人への「気遣う心」や「思いやりの心」が、芽生えてくれれば素晴らしいと思います。それがロータリークラブの根本です。

今回沢山の作品が出た事について、自然や環境への関心の高さを感じましたし、先生方の普段からの教育によるところだと思ひ、感謝を申し上げます。

又、コンテスト開催にあたり計画当初よりご協力頂きました関市教育委員会様始め、後援の団体様には大変感謝しております。有難う御座いました。

***来賓あいさつ**

関市長 尾関健治 様

絵本というのは子供にとってすごく大事なんだと普段から思っています。高1と中1の子供がおりますが、小学校の在学中には毎月一回保護者の読み聞かせがありまして、市議会議員の時から学校に読み聞かせに行きました。絵本というのは豊かな心を作ってくれると思いますし、自分の世界が広がっていく一つの窓口になるのではないかと考えております。その意味で関中央ロータリークラブのみなさんが絵本を作って絵画や作文を募集していただいたことの意義は関市にとっても子供たちにとっても大きいなということを思っております。お子さんへの読み聞かせも含めてぜひ本にふれる機会をこれからも作っていただきたいと思います。



「森に帰ったクジラ」

文・制作者 荒井 誠二 様

本業は建築設計をさせていただいております。まずもってこの度は関中央ロータリークラブのみなさんが取り組んでおられます環境保全活動そういった理念とこんなに多くのみなさんに私たちの想いが広めていただいたということに感謝しております。



この本の成り立ちを紹介させていただきたいと思えます。20年ぐらい前のことになりますが三重県のカキ養殖をされております畠山さんという方が「森は海の恋人」という著書を出されました。そんな出会いがありまして、分かりやすく子供たちに伝えていくようなそんな絵本が作りたいなと思っておりました。色々な方の後押しがありこうして発行することができました。

「森に帰ったクジラ」

絵制作者 水野 香里 様

今日は皆さんの作品をみせていただき、明るく元気のある作品ばかりで、子供たちの心の中に美しい世界が広



がっているのだろーと思いました。「森に帰ったクジラ」を読んで、山も川も海も全部つながっているということを感じて頂いて、そしてまずは自分たちの周りからきれいにするというのを心掛けて実行していくということで、きっとみなさんの心の中にあるようなこんな美しい世界が実現できるのではないかと思います。

***感謝状授与**

瀬尻野球スポーツ少年団



関商工インターアクトクラブ



***入賞者発表**

	絵画	作文
関市長賞	岡田 倫果	深川 葉南
関市教育長賞	西部 咲都花	永田 大翔
関中央ロータリークラブ会長賞	ごとう おうすけ	前川 真徹
岐阜新聞社賞	北洞 悠樹	青山 悠斗
長良川環境リジャー協会賞	竹内 乃々佳	松本 悠里
優秀賞	乗富 正悟	辻 菜々音
〃	大野 桃香	矢島 拳心
〃	所 咲帆	古田 実久莉
〃	武田 桔平	長 沙枝香
〃	小倉 稜也	松浪 昂矢

*作文朗読



*講評

関市教育委員会

学校教育課 課長 森正昭 様



森に帰ったクジラを読んでたくさんの方に多くの作文、絵画に応募していただきました。作文については絵本を読んで長良川を含め身近な森や川や海の環境について考え、自然の素晴らしさや自然を守る事の大切さを自分なりに考える小学生の発想が素晴らしいと思いました。自然を大切にするというのは、ただただ木を植えるだけではだめなんだ、バランスが大事なんだ、それを感じてさらに自分で行動すること、決意すること、やってみること、自分の生活と結びつけるそういった小学生がたくさんいました。

絵については絵本から感じる子供らしい心の豊かさを感じ、迫力のあるクジラ、そしてクジラが助けてくれた森を喜ぶオオサンショウウオ、それらが本当にのびのびと描かれていました。そしてクジラは森を救って森と川と海がみんなつながった仲間なんだそういう思いを感じさせる絵が多かったです。きっと関市の小学生、保育園、幼稚園の皆さんはクジラ、オオサンショウウオ、鮎、森の妖精のように仲間と助け合うこと、仲間と仲良くすることを大切するような思いを感じてくれたのではないかと思います。

*ゆきこま会 舞踊



<次例会の案内>

第1879回 2016年11月12日(土)
長良川流域連携クリーン作戦例会

担当：環境保全委員会